

壮年会だより

＜7月17日(日) 21名参加＞

＜庭の手入れ＞

真夏の太陽がギンギンと照りつける教会の庭に働き者ばかりの21名が集まり、樹木の剪定、草刈り、青垣として育てているツゲ苗への肥料やりの作業をしました。正味1時間余り、全身に汗を流したあせりと、働く壮年隊の姿には、雄々しく、壮烈な年輪のきらめきがありました。その中に武田さんの奥様と息子さんが加わり、優しさとお夢とを与えてくれました。

切り取った多量の枝や葉は、武田さんの出してくださったトラックに積み込んできれいに運び、お蔭様であったという間に目標の手入れを終えることができました。

＜懇親会＞

庭の手入れの後、慰労と懇親の会を冷房のきいた集会所で開きました。婦人会の方々のお世話になりながら、冷たい飲み物で喉を潤し、心のこもった料理を囲んで、歓談しました。

様々なことが楽しく話し合われましたが、今回は主に『効果的な話し方』について突っ込んだ議論がなされました。また、最近はおぼろ虫や葉ダニがはびこっているが、その天敵である七星テントウ虫が激減している等の科学的な話にも花が咲きました。

おしらせ

□ 転入

使徒ヨハネ ^{すえなが せいいち} 末永 誠一 (壮)
幼いイエズスのテレジア ^{あきこ} 聡子 (婦)

泉区和泉町3685-1 ソレイユA-102 Tel. (805)3185

□ 第五回 卓球大会!!

8月21日(日) 9時御ミサ後 於 地区センター
終了後は懇親会も実施。

上履き(靴)持参のこと。

参加申し込みは8月14日迄。



□ クーラー導入の件

聖堂と泣き部屋にクーラー導入が決定されました。泣き部屋は導入済み。聖堂は8月中旬に大型冷暖房装置を2台設置予定です。お楽しみに。

□ 二俣川教会聖歌隊の練習への参加

7月より、第四日曜日の11時御ミサ終了後、二俣川教会聖歌隊の練習の為、聖堂をお貸ししてありますが、中和田教会の方の参加歓迎の旨お申し出がありました。ご参加下さい。

ミサ 当番表 (9、10 月)

月/日	主日	第一朗読	第二朗読	奉納	オルガン	備考
9/4	第23主日	小野寺	小野寺	小野寺	岩淵	壮年会
9/11	第24主日	武田	島倉	島倉	大宮	青年会
9/18	第25主日	婦人会 A地区			美底	婦人会
9/25	第26主日	宮崎	宮崎	宮崎	石川	壮年会
10/2	第27主日	藤田	藤田	藤田	岩淵	壮年会
10/9	第28主日	武田	島倉	武田	大宮	青年会
10/16	第29主日	婦人会 B地区			美底	婦人会
10/23	第30主日	岩淵	岩淵	岩淵	石川	壮年会
10/30	第31主日	婦人会 B地区			岩淵	婦人会



※当番の方は10分前には集合して下さい。

※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。

(萩原)

☎802-6258)

編集後記

中和田広報を担当して早半年が過ぎました。不慣れで間違いも多々あり、御迷惑をお掛けして来ましたが、今回は中和田広報も、嬉しい夏休みです。また次号(10月2日発行)に向け皆様のアイデア溢れる楽しい原稿をお待ちしております。

(E. I.)



今月の予定

要理学校合宿 8月4～6日
聖母被昇天 8月15日
卓球大会 8月21日
サロン 8月7日
レジオ お休み



第195回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
Tel. (045) 803-6141
1994年 8月 7日



一月二十五日 ⑤

山崎 正俊

◎ さて、話題はかわりますが、私が川崎市の教会にいたとき、歩いて十五分ぐらいのところに、ホーリネス教会があり、その牧師さんは、戦争中からそこに住んで、軍の迫害に耐え貫かれたわけです。そのときは、川崎キリスト教教職会の会長ということでした。川崎市でのカトリックで、日本人の神父は私一人でしたが、前任者がその会の会計でもあったことによって、同じく会計を引き受けさせられ、カトリックのほうの連絡掛りを兼ねて、書記役のバプテストの牧師さんと三人で相談しては、会を運営していました。信仰一致祈禱週間の準備をしていたとき、会長の牧師さんは私に云うのです。「こうして、カトリックの神父さんにつきあっていると、情にほだされるのですが。我々の教会の先輩たちが、どれほどの時と血を流して、手に入れてくれたかわからない程の、この『独立と良心の自由』を、また失うようなことになりそうで、心配です。同じ信仰を持ちながらも、分かれたままというのは、何とも恥ずかしいことですし、あのルーテルでさえも、最後の晩餐のときの主イエスの祈りによっての一致があるはずなのに、『人間の利己心が分裂をもたらし、互いに憎みあわせているのです』などと、その祈りのなかで反省しているほどですから、何としたものですか。その実現は、気も遠くなるほどに

も、さきのことでしょうが」——この老牧師は、真新しい紺の紡織(ツムギオリ)の和服姿で、その奥様と御一緒に(この奥様も牧師さんですが)、私が転勤する前の日、二人して挨拶に来られ、そのあとも、この世を去られるまで、その教会月報を、毎月のように送って来られました。

◎ これはまた別のことですが、さきほど、世界的に大きな政治的变化がありました。共産主義政権が倒れたことです。やはり、資本主義の勝利だとか云って、喜んだ政治家があったそうですが、或る評者の言葉には、キリストの信仰に叶ったものもありました。——マルクスやレーニンの予言によれば、五十年もしないうちに資本主義経済は、亡びてしまうはずでした。そうならないで生きのびているわけは、社会主義者の批判によって、反省するところがあったからです。労働者の人権を認め、労働者にも利益を分け、労働基準法を定め、労働環境をととのえ、その福祉のことをさえ考えたからです。

社会主義者は、自分たちと意見や方法の違う者はすべて、敵として抹殺し、資本家たちは、しぶしぶながらも妥協することを知っており、他の者の良いところを取り込んで来たからです。とにかく、労働者を協力者仲間のうちに加えることを、忘れることができなかったのです。

三つの義務



位田 義男

私が海外駐在して居た頃の話である。

商社マンの仕事は、昼間は外に出て、関係情報を集め、取引先と交渉し、その内容をその日の内に(ファクシミリは無いのでテレックスで)日本側に伝える仕事で主であった。従って夜仕事を終えるのは、早くて8時、遅い日は11時ごろとなっていた。欧米系の人々は働き者といわれたドイツ人でも仕事に関する考え方はまったく異なり、残業してまで仕事をするのは日本人ぐらいのものだった。

だから日本人の働きぶりは目立ち、事務所に夜11時まで居残って仕事をしている日本人を見ると、感心するよりむしろ軽蔑したように、そんなに働いてどうするんだ。

そして彼らはこんなふうに言う。

『人間には三つの義務がある』

一つは家族に対する義務。われわれは妻や子供とともに人生を楽しまねばならない。一つは自分の勤め先に対する義務。これは言うまでもな

い。もう一つは地域に対する義務。その土地に生きる人間として隣人との付き合い、地域の向上のためのボランティア活動、これも欠かせない。

ところが日本人は、会社への忠誠ばかり行っていて、家族への義務も、地域への義務も十分に果たしていないように見える。これでは一人前の人間、社会に生きる人間とは言えないのではないか。

こう言われた時、私は成程と思った。たしかに彼等は言うだけで無くそれを実行しているし、それを十分に行っていない人への軽蔑を隠さなかった。

現在はOA機器の発達と若者の残業に対する考え方さらに企業の労働条件に関する考え方も大きく変化しているので、大幅に改善されている。しかし社会に生きる人間として『三つの義務』は変わらないのではないか。

この年になって当時の情景を思い出し、会社の帰りに有隣堂に立ち寄り『ボランティアこれから始めるあなたへブック』を買い求めた、私の恥じ話である。

ジュリア祭に参加して

丸田 綾子

船室にまろび寝つゝ波音に

わがゆく船路の果を思いぬ

うねり来て打くだけ散る波頭

水泡は白く光り輝やく

緑陰にしづもるジュリアの奥津城に

今しわれらはぬかづき祈る

孤島なる神津の島に日韓の

睦み交わすもジュリアの功

夕もやの湾の水ぎわに太陽は

沈まんとしていまだ中天

委員会だより

<7月3日(日) 13名出席>

1. 財務関連:

- 6月度財務報告(福島委員)一委員会了承
- ◆建設会計では、6/20に全額返済を完了し、無借金体制が実現できた。
- ◆一般会計の累計残高は、6/末現在で¥1,666,885であり、この調子で推移すれば今年度の財務収支は何とかなる見込み。
- バザー収益金の『信徒会の通帳』は廃止し、信徒会勘定は『一般会計(予備費)』に組み入れることとする。課題は時期であるが、これについては、8~9月に予定している倉庫建設を勘案して決定する。

2. 御聖堂へのエアコン設置の提案

婦人会長より、掲記提案あり。価格、工事費など調査する。

3. 『敬老の日』のプレゼントの件:

- 婦人会で出た意見は、
- ◆言葉を添えないで、モノだけを送るのはよくない。
- ◆商品券はよくない(特定の店のみ使用可)。
- ◆お菓子を貰ったところで、食べ切れない。
- ◆敬老の日の為のごミサを行い、皆であるのかどうか、(出席出来ない人には御絵を付けた記念品を送る).....等であり、壮年会で出た意見もほぼ同様。
- 結論として、9月11日に『敬老ミサ』+『お茶会』を行い、運営詳細は委員長、副委員長に一任する(7月中に決める)。

4. 子供用侍者服新調の提案(典礼委員):

- ◆先般新調した大人用2着に加え、子供用を2着新調したい旨提案あり、委員会として了承。傷みの激しい祭壇の覆いの生地と合せ小山委員が調査。予算は5万円。

5. 神父様霊名祝日の霊的花束:

- (注: 7/3に神父様に差し上げた。)
- ◆萩原委員より、集計内容の報告あり。

6. 第5地区宣教委員会の委員改選:

- 壮年会長、婦人会長に人選を依頼。

7. 一粒会報告・メッセージ(小谷委員):

- 清水委員長から説明(資料回覧有り)。

8. 卓球大会:

- ◆今年から、(旗振りとは壮年会だが)委員会の行事として運営する。やり方として、壮年、婦人、青年、要理、シニアの各層より委員を募り、実行委員会を構成する。
- ◆開催日候補は、8月21日である。

9. 夏期学校:

- ◆二俣川教会から合同開催の申し入れがあったが、日程の折り合いがつかず断念。
- ◆実施日は、8月4日、5日、6日の3日間。今年は、初聖体対象者が2名おり、8月7日の9時のごミサで初聖体をいただく段取りとなる。

10. 火災保険の件:

- ◆中和田教会では、教会建物に5千万円、集会場に1千3百万円の火災保険に入っているが、10月に、この為の支出58,000円が発生する旨報告あり。
- ◆本件に関連して、教区全体で加入している『教会賠償責任保証保険』の紹介が福島委員よりあり。この保険は対象範囲が広く、いろいろ活用が出来そうである。

11. 『青少年』の課題:

- ◆位田副委員長より、検討の為に、壮年会、婦人会に対して、それぞれ2名の委員推薦の要請があり、両会長了承した。

以上



婦人会だより

<7月17日(日) 29名出席>

1. 委員会報告

2. 新会員紹介

末永 聡子さん
和泉町3685-1 ソレイユA-102
Tel. 805-3158(連絡網はC地区の滝川さんの下に入れて下さい)

3. お名前の訂正

先月紹介した森脇さん ⇒ 正 森脇 彰子

4. 青少年指導の問題

青少年がなぜ教会に来ないのか、どのような対策が必要か等、話し合われました。

5. シャロームの家(寿町)

おにぎり作りについての主旨、経過について説明がありました。8月14日(日)のミサ後作業のお手伝いお願いします。費用の献金についても御協力お願い致します。

6. バザーに関して

- ◆食堂関係について値段等は役員で検討する事になりました。
- ◆ケーキは場所を借りて指導者を頼み、皆で作った方がよいという事になりました。個人的に作って下さる方もお願いします。
- ◆自主作品の提供を重ねてお願いします。製品を出す箱は量の部屋に準備します。
- ◆不用品回収の箱も8月より出します。

7. その他

委員会報告のバザーの収益金について意見が出されました。

[8月の例会はお休みです]

おしらせ

□ 転出

8月末に小川さんが転出なさいました。

ミカエラ 小川 和恵 (婦)

転出先: 〒969-41 福島県耶麻郡山都町 大字木幡字稲場 乙1814 Tel. (0241)38-2109

□ 初聖体 (8月7日(日))

フランシスコ・アシジ 清尾 勇哉

フランシスコ・ザベリオ 武石 由佑紀



□ バザー

10月30日(日) 9時御ミサ後、『対外支援及び教会施設充実のため』をテーマにバザーが開催されます。ご協力宜しくお願い致します。

□ 赦しの秘蹟

12月11日(日)9時御ミサはウルフ神父様の司式で赦しの秘蹟が行われます。

□ 収納倉庫の件

かねて検討されてきました収納倉庫は、バザーの前迄に設置完了の目処が立ちました。

10月9日の週に基礎工事、16日の週に組み立てで、23日迄に完成予定です。場所は、新・旧集会室の間です。

ミサ 当番表 (10、11 月)

月/日	主日	第一朗読	第二朗読	奉納	オルガン	備考
10/2	年間第27主日	藤田	藤田	藤田	岩淵	壮年会
10/9	年間第28主日	武田	島倉	武田	大宮	青年会
10/16	年間第29主日	婦人会 B地区			美底	婦人会
10/23	年間第30主日	岩淵	岩淵	岩淵	石川	壮年会
10/30	年間第31主日	婦人会 B地区			岩淵	婦人会
11/6	年間第32主日	小野	小野	小野	大宮	壮年会
11/13	年間第33主日	青年会			美底	青年会
11/20	王であるキリスト	婦人会 C地区			石川	婦人会
11/27	待降節第1主日	滝川	滝川	滝川	岩淵	壮年会



※当番の方は10分前には集合して下さい。

※ご都合の悪い方は典
礼委員までお申し出
下さい。

(萩原: 2-6258)

編集後記

終わりそうもなかった暑い暑い夏が終わると、今年もあと残りは3カ月かと驚いてしまう今日この頃です。

これから、バザー、ハイキング、クリスマスと行事が続きますが、是非充実した3カ月に行きたいものです。

紙面も充実させたく、御投稿の程お願い致します。

(E. I.)



今月の予定

委員会、ミサの祈り 10月2日

世界宣教の日 10月23日

バザー 10月30日

サロン 10月 9日、23日

レジオ 10月14、21、28日



第196回

カトリック中和田教会

広報委員会発行

泉区 中田町 2701

Tel. (045) 803-6141

1994年 10月 2日



一月二十五日 ⑥

山崎 正俊

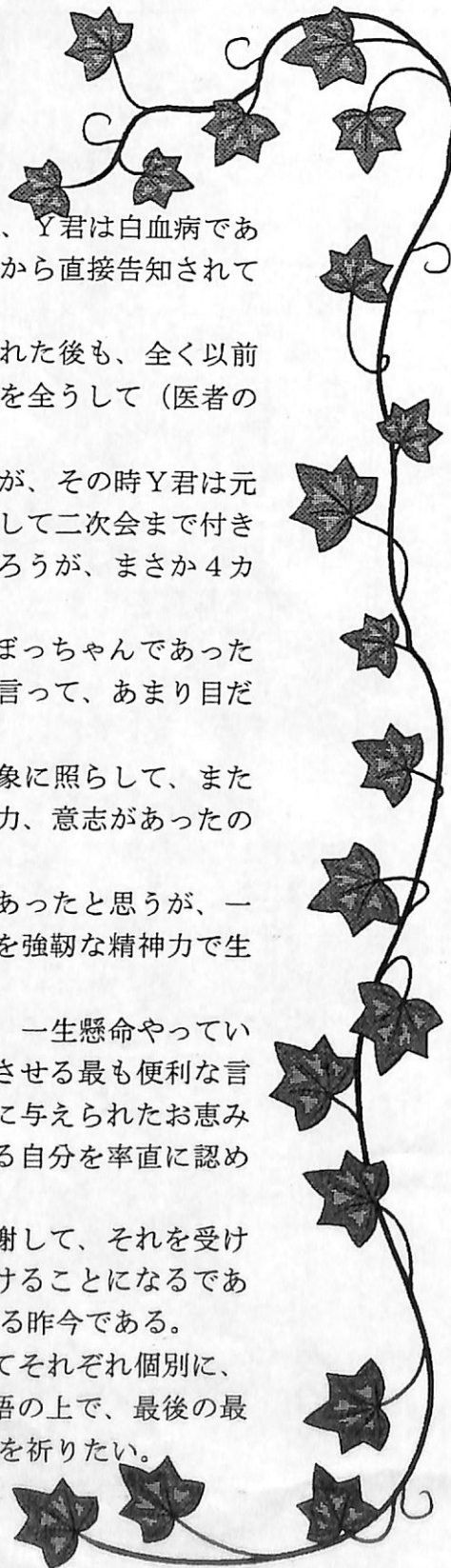
——自分たちと違うものを、それだけで憎み嫌うというのではなく、その人たちの持っている善意を信じる。それまでの自分を反省することなどは、信仰に生きる者には馴れているおこないのはずです。いま、これまでの在り方の足らなさを思うと、人生の終りが近付いているらしいので、いささか慌てているところです。

◎ そこで終りに、ふたつのお願いをさせてください。—— そのひとつは皆様御存知の、あの死海文書といわれる古文書についてのことです。この頃、プロテスタントの学者の研究が日本語に訳出されたことですが、私がまだ神学生であった頃に、「勝手な解説が出されている」と聞かされたままであったことを思い出したからです。あれから、世界各地の有名大学や研究所で調べ続けられているはずなのに、カトリック教会でのものは、まとまった形では日本語で出されていることを私はまだ知らされていないのです。よいものが出されているのでしょうから、それを教えてほしいと思い、それによって、その時代背景のことをもっとくわしく知るならば、イエズスさまの御言葉の意味を、もっと正しくわかることができると思うからです。それから、もうひとつのお願いは、これからの時代のカトリック教会の教えについての、基準の教理書についての、大部のものが出され、改訂されたものがまとめられ、誤解されにくいようなものになったのに、その日本語訳が近く出されると発表されただけで、一向に音沙汰なしのままなのは、いかにも不都合なことに思われるし、立派なものが、これまでもなく出されているはずでしょうから、それを幾つか紹介してほしいということです。いまなされている説明が、あまりにも分かりにくいので、日本語でしか読めない私のような者のために、すこしでもはやく読めるようにしてほしいということです。どうか、よろしく、お願い致します。これで、終わりとします。ありがとうございました。……

◎ これは、司祭の月修の日のミサに、当番として割り当てられた説教に筆を加えたものです。おそらく、私にとっては、もう、これが最後のものになるのでしょうかと思えるものです。この次は、十年もさきのことでしょうから、年齢の関係から云っても、免除されるはずですが。あの週の土曜日の午後、教会の入口のドアを、すこし修理しようとしていたとき、キャタツから落ちて、意識を失い、入院して、回復するのを待っているところなのですが、意外と頭の状態がもとにもどりにくく、負傷の程度は軽いようなので、いくらか安心はしているのですが、どうも、老化が幾らか早くなったようで、この世のまともな生命活動が最後に近付きすぎたらしく、神父の粗大ゴミはどうにもなるまいという予感が拭い切れないことがわかって、これがまとまった形の遺書のはしりになってしまったというような気が、どうにもなりません。というわけで、弱くなった集中力を傾けて、これからは、まとめたものを残そうと思います。

日々の重み

小野 雅彦



昨年、学生時代の友人が二人病気で亡くなった。そのうちの一人、Y君は白血病であり、あとで聞いたことであるが、Y君は2年前に、余命2年と医者から直接告知されていたそうである。

Y君は大手の鉱業会社に勤めるサラリーマンであったが、告知された後も、全く以前と同じく仕事に励み、多くの海外出張を含む激務をこなして2年間を全うして（医者の告知通り）逝かれたとのことである。

亡くなる4カ月前に、実に25年ぶりのクラスの同窓会があったが、その時Y君は元気な顔で参加して、病気のことなど、おくびにも出さずに皆と歓談して二次会まで付き合った。Y君は、我々との最後の別れのつもりで参加されたのであろうが、まさか4カ月後に亡くなるとは、我々はその時夢だに出来なかった。

Y君の学生時代のプロフィールを述べると、いわゆる良家のおぼっちゃんであったが、どちらか言うと、控え目でコツコツやるタイプであり、率直に言って、あまり目だつ方ではなかった。

Y君の訃報に接し、その凄絶な死に方を聞いた時、学生時代の印象に照らして、また特に信仰を持っていなかったあのY君のどこにその様な強靱な精神力、意志があったのかと、驚き入ったのが小生の正直な実感であった。

Y君の最後の2年間の胸中は、小生などには想像を絶するものであったと思うが、一日一日の時間の刻みが、さぞかし重く、貴重なものであって、それを強靱な精神力で生き抜かれたのだと思う。

自分のことを省みると、日頃「死」について意識することもなく、一生懸命やっているんだと自分に言いかけながらも（注：これが自分で自分を納得させる最も便利な言い訳）惰性で流されて、次第に感謝の気持ちを失って、万人に平等に与えられたお恵みである時間を、無為とまでは言わないまでも、軽々しく費やしている自分を率直に認めざるを得ない。

およそ、明日にも「死」を迎えても、それまでの自分の生涯に感謝して、それを受け入れられる様な生き方からはほど遠い。多分、死ぬ迄低空飛行を続けることになるであろうが、少なくとも本来の生き方に近づける努力はしようと念じている昨今である。

後から聞いた話であるが、Y君は、奥様と二人の子供さんに対してそれぞれ個別に、それはそれは立派な遺言書を残されていたとのことである。全て覚悟の上で、最後の最後まで燃焼し尽くしたY君に、心底より敬意を表すると共に、御冥福を祈りたい。

委員会だより

<9月4日(日) 14名出席>

1. 神父様おケガ(8/24晩)
8/31に抜糸、経過良好
2. 御聖堂にエアコン設置完了
◆総額 ¥2,052,712、8月末に支払を完了。
◆財源は (1)建設会計を主体、(2)一般会計より¥300,000(元々建設会計)をまわす、(3)山崎神父様より、特別献金¥600,000。
★エアコン設置で、財源は苦しくなったが、『倉庫設置』は(予定通り)敢行する。
3. 卓球大会
◆8/21に挙行、楽しい集いが出来た。懇親会は御聖堂で実施。
◆予算は¥70,000であるが、実績¥61,884で済んだ。(神父様よりビール券差入れ有り)
4. 敬老の日の段取り
◆9:00のごミサを敬老ミサとし、終了後、茶話会を実施する。
◆対象者の方には、「御絵」+「記念品」をプレゼント。
◆設営：壮年会(9/10～)
◆当日の茶話会の接待：壮年会/婦人会。
5. 財務報告：福島委員欠席で、来月まとめて報告。但し、8/末現在の残高は次の通り。
・一般会計：¥1,406,243 ・建設会計：¥3,598
・愛の献金：¥429,887
6. 要理：夏期学校、8/7に無事完了。
7. 「聖歌の集い」実行委員会(7/17開催)：
◆1995年2月26日に山手教会にて開催。
◆浜尾司教様が出席される。
◆選曲は、天使ミサ503、他に決定。
8. 宣教委員会：委員改選の準備要。
9. 「青少年の課題(活性化)」に関する委員会：
位田副委員長を中心に、(壮年会)鈴木さん、森脇さん、(婦人会)山本さん、岩崎さんで進める。 9月に初顔合わせ。

以上

壮年会だより

<9月18日(日) 13名参加>

1. 委員会報告
2. 新入会者紹介
末永氏が新入会された。
3. 倉庫建設の件
倉庫本体の形状、仕様並びに設置場所は既決定済み。土台工事についての詰めを行った。今後、土台工事については、自主工事または発注工事両面から検討することになった。いずれにしてもバザー前に建設完了目標で計画することになった。
4. バザー関係

全体的な計画はバザー委員会中心で推進中だが、壮年会としての取組みについて協議した。出し物、役割分担等については鈴木委員に一任し、全面協力を申し合わせた。

5. 青少年対策協議会(仮称)の件
壮年会からは、鈴木、森脇 両氏に御苦労頂くことになった。
6. 聖歌の件
「聖歌」というものを一度再考してみてもどうかとの意見が出され、委員会に提言することになった。
7. レクリエーションの件
ここ最近恒例となっているハイキングを計画する。(時期は11月頃)

以上

婦人会だより

<9月18日(日) 32名出席>

1. 委員会報告
2. バザーの件
 - ① 食堂関係決定事項
カレー 300円 250食
山菜ごはん 200円 250食
白玉しるこ 150円 150食
フランクフルト 150円 100本
ケーキ&紅茶 150円 未定
※ 食券販売は10月9日(日)より致します。
お早くお求め下さい。
 - ② 仕入れまたはご寄付による販売品
ドロさまうどん、椎茸、お茶、クッキー、ウーロン茶、ケーキ、(ブランドーとオレンジ)、お花等。
 - ③ バザー当日迄の日程は下記の通りです。
お手伝い出来る方はよろしく。

9月22日(木)10時～	作品作り
10月 3日(月)10時～	作品作り
10月 9日(日)	製作品提出締切り
10月22日(土)10時～	値段付け (昼食を用意します)
10月23日(日)	値段付け予備日
10月27日(木)13時～ (立場地区センターがとれなければ変更になります。玄関入口の行事予定表を見て下さい。)	ケーキ作り
10月29日(土)10時～	諸準備

- ④ 当日の売り場担当については、10月になりましたら表を貼り出しますので、各自ご記入下さい。
3. その他
小川 和恵様が転居されました。
転居先は、『お知らせ』をご覧ください。
[次回例会は10月16日、お当番はB地区]

速報

バザー収支報告

甲斐 至信

概算の報告ですが、このたびのバザー収入(利益)は、およそ次の通りとなります。

約 35 万円

現在まとめの作業を続けていますので、近日中に確定報告致します。

皆様、ご協力大変有り難うございました。

おしらせ

ご結婚おめでとうございます



ヨハネ 富田 範保さん、奈美さん (10月22日(土)、渋谷教会)

新住所: 〒270-01 千葉県流山市野々下 5-966-15

転入

ペトロ 許 進 忠 (35) (キョ シー チュー) 上飯田町 3811番地 1号

マリア 趙 樹 玉 (31) (チョー チュク ウィ)

許 亮 亮 (9) (キョ リン リン)

許 紅 紅 (3) (キョ ホン ホン)

宮下神父様ご移転 10月17日(月) 御殿場 神山教会に

新住所: 御殿場市神山 109 復生病院 気付

七五三のお祝い 11月13日(日)

赦しの秘蹟 (再掲載) 12月11日(日) 9時御ミサ (ウルフ神父様司式)

収納倉庫 無事完成 荷物運び込みも完了



ルワンダ難民の 子供達のために

カリタスジャパンの働きかけで、ルワンダの子供達に衣料を送りますので、ご協力お願い致します。

◆2~15才用 中古でも可(下着は新品のみ)

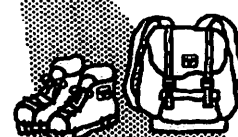
◆一般衣類、ジャージ、Tシャツ、トレーナー、ランニング、etc. (夏服、冬服共可)

タオル、毛布

◆11月12日迄に教会に届けて下さい。

秋のハイキング

- 11月13日(日) ミサ後
- JR東逗子→鷹取山→京急追浜駅
- 歩行時間: 約2時間
- 持ち物: 弁当、雨具
- 解散: 戸塚駅 午後4時
- 費用: 1,200円(交通費)



編集後記

ルワンダは本当に大変な状況のようですね。いつも大人の犠牲になるのは、小さな子供達です。UNICEFのレポートによると、わずかな寄付や物資援助でも、多くの子供達の命が救われるとのこと。皆で少しでも協力できればと思います。

(E. I.)

今月の予定

委員会, 11月6日
七五三、ハイキング
11月13日
サロン 11月 27日
レジオ 11月13, 20, 27日



第197回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
Tel. (045) 803-6141
1994年 11月 6日



Fr. M. D. とのわかれ(上)

山崎 正俊

◎ 思いがけない出来事は、いつでも、誰にとっても、突然のように起こります。けれども、考え方によっては、それは、ひとつの転換点のようなものになります。人生には、いくらか予想することや期待することができたりなど、当たり外れやことの善し悪しのようなものがあるのですが、どのように受け留めるかによってその意味がかわり、すべてを生命の与え主のお心のうちのこととして、それをつかうのが当然のことですから、この世に置かれている間には、そのまま前にすすむことになります。この1994年は、私にとっては、いつもの年とは事変わったものを感じられます。そのまえより今年のほうが、老化の速さが加わっているのです。一月の末には、高いキャタツから落ちてアタマを打ったり、八月には倒れてクチビルを切ったりして、あちこちホネを傷付けスジを痛め、外見にはあまり違いはないのですが、どこか不具合なところが出てきて、疲れ易くなり、新しいことには適応しにくくなったりして、馴れたことでも、ひとテンポ遅れながらついてゆくという具合。吾ながら、道がズレはじめたことを気付くようになりました。

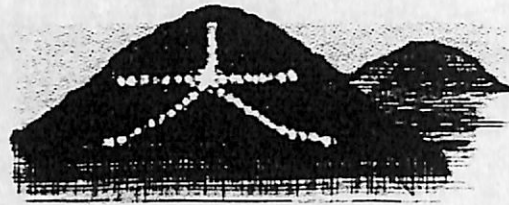
この頃、この日本の地から、その幼いときからの思い出の地に派遣されることになったと、いくらか気心のわかりかけたお方が説明しながら、そのまま、離れて行ってしまわれました。数すくない親しかったお方であったのに、おそらく、そのままになるのです。この一二年間に、わずかながらの「顔見知り」に先立たれ、「これまでは、他人のことだと思っていたのに、いま、自分のことになってしまった。」と、誰かのつぶやきが聞こえ、私の身近かにも順番が近寄ったらしいなどとタイヘンがっておるところです。

◎ そうですよ、淋しいですねとかなんとか云って、別れを惜しんだりしていても、そういうのは、人生の儀礼なのですから、そんなにまともに受け取らなくても、受け取ったような振りをするだけで、その次のことに思いを馳せればよいのです。「おまえは、そんなに、生まれたいのかネ」と訊ねて、このツライ世の中に出てくる者を受け取る儀式をするグウタラ親父のことを、物の本に読んだことがあるのに、何も知らなかったらしい私は、そのときのことを、少しも憶えていないままに、苦しまぎれに、沈まないように、手足をバタバタやりながら、それでも、前に進んでいて、こうして、終わりの日に、近付いているだけのこと。



京 都 の 夏

石井 三雄



暑い！とにかく暑い。盆地特有の気象条件で、京都も例外でなく年間の寒暖の差が大きい。さらに今年は全国的な猛暑ときている。昨日の京都は記録的な暑さだったと地元の人がうんざり顔で話していた。今日もそれに次ぐ暑さだそうだ。

昨日は昨日で、滋賀の大塚オーミ陶業の工場で1300度で焼く連続窯の前に立っていた。まさに灼熱地獄の様相だった。しかし、これはこの連続窯の所だけで、これ以外ここで受けた実感は、高度な技術で形成し、絵付けを施し、焼成された大型美術陶板を前にしているあいだは、その暑さを忘れていた。それ程、創造的で卓越した技術が圧倒していた。

今、真昼の日差しのなか、陽炎に揺れる詩仙堂の主間に座して庭を眺めている。昨年一度も聴いたことが無かった蝉の声がさらに周囲の温度を上げている。庭の草木も暑さに耐えているためか、そよともしない。なぜかガーシェインのサマータイムのメロディーが頭の中をよぎっていく。シシオドシの音で我にかえる。改めて縁側に場所を移し座りなおし、抹茶を頂き、樹齢700年を越える山茶花の大木が創り出す木陰をみている事で、暑さを忘れる事が出来た。

昨日もオーミ陶業で集中した時同様な現象があったが、アクティブとパッシブの違いで、要は対応の仕方如何で快適な環境を創出することが人には可能だと云うことだ。ただ、ここで気になったことが一つ、案内書（サイン）の貧弱なこと。国内で歴史のある諸施設の案内板（サイン）は墨で書いた和紙にビニールを被せて雨露をしのぐだけと言う安易なものが多い。

これによって折角の文化施設をつやけしにしていると云っても過言ではないと思う。京都も例外ではない。高名な神社仏閣でもサインがなく、あっても先述した仕様の類が散見される。

暑さの中でこんな事を感じていた京都の夏。

ミサ 当番表（11、12 月）

月/日	主日	第一朗読	第二朗読	奉納	オルガン	備考
11/6	年間第32主日	小野	小野	小野	大宮	壮年会
11/13	年間第33主日	青 年 会			美底	青年会
11/20	王であるキリスト	婦 人 会 C地区			石川	婦人会
11/27	待降節第1主日	滝川	滝川	滝川	岩淵	壮年会
12/4	待降節第2主日	石井	石井	石井	大宮	壮年会
12/11	待降節第3主日	青 年 会			美底	青年会
12/18	待降節第4主日	婦 人 会 D地区			石川	婦人会
12/24	主の降誕・夜中	井上	井上	井上	岩淵	壮年会
12/25	主の降誕	位田	位田	位田	大宮	壮年会



※当番の方は10分前には集合して下さい。

※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。

（萩原：TEL 802-6258）

委員会だより

<10月2日(日) 12名出席>

1. 敬老ミサの催し：好評であった。別途、名簿整理する（担当：小野）。
2. 12月11日に「赦しの秘跡」：ウルフ神父様にお願いした。
3. 財務報告（福島委員）：⇒ 委員会了承
4. バザー：二俣川教会からの申し入れの件については、別途内容を確認する。
5. 収納倉庫：位田副委員長より、業者との交渉の結果、見積額が¥545,900となった旨報告
6. 信徒会会計：残額を信徒会会計に置いておくのか？⇒ 予備費として一般会計へ組み入れる。
但し、時期は、今回(10/30)のバザーの収支が確定してからとする。
7. クリスマス人形の購入の件：清水委員長と花坂副委員長が、見に行く。
8. 消火器中身の薬品の詰め替えの件：⇒ 町内会の防災訓練時に出来るかチェックする。
9. 宣教委員会委員改選：別途、次期委員候補者に打診。
10. 平成7年度信徒総会日程：平成7年1月29日に決定。会計監査人は別途依頼。
11. 「会」の名称：壮年会で、「壮年会」という名称は改めてはどうか、という課題提起あり。今後、検討していく。
12. 「聖歌」の件：もう少し、力を入れるべしとの課題提起あり。井上委員預かりとし、検討していく。

以上

壮年会だより

<10月16日(日) 14名出席>

1. バザーの準備について（鈴木さん）
10月29日(土) 10:00よりシート張り、テント張り等の作業をする。
壮年会連絡網で参加を呼びかける。
2. 教区福祉委員会参加報告（清水さん）
10月15日(土)に横浜カトリックセンターにおいて教区福祉委員会が開催され、本教会から参加した清水委員長からその概要の説明がありました。
3. 倉庫の建設について（位田さん）
すでに建設され、代金も完納した。ベニヤ合板を敷き、23日(日)に、新集会室にあるテーブルや卓球台や冷蔵庫をみんなで収

納することになりました。

4. ハイキングについて（山田さん）

11月13日(日)に、ミサ後鷹取山(海拔130m)にハイキングに行く。距離が短く、誰でも楽に登れるコースですので、ふるってご参加下さい。
(詳細はお知らせ欄)



5. 一粒会について

小谷さんより報告がありました。

6. その他

役を持たない人は壮年会に出にくい雰囲気がある。入りやすい雰囲気を工夫して欲しいという要望が出されました。

以上

婦人会だより

<10月16日(日) 30名出席>

1. 委員会報告

- ◆委員会より要請のあった、教区第5地区福音宣教委員会委員の選出（婦人会から1名）について討議の結果、今後A地区から順次地区毎に出してゆくことに決まりました。
従って今回はA地区から出て頂くことになります。



2. バザー関連事項

- ◆バザー当日の売り場の担当を皆様に分担記入して頂きました。
- ◆バザー用商品の値段付けの作業を10月22日(土)午前10時から実施し、この時昼食を兼ねて炊き込みご飯とおしるこの試食を致します。
- ◆ケーキ作りを10月27日(木)午後1時から立場地区センターで行います。個人で自主的に作ってくださる方については、材料費を払って作って頂くことにします。
- ◆新品の不用品の提供数がやや少ないようなので、再度の呼び掛けをしました。

3. その他の事項

- ◆11月4日の初金ミサを、物故会員の為のミサとしてお捧げします。
都合のつく方は、共に祈りたいと思いますのでご参加下さい。
- ◆次期婦人会の役員を各地区とも11月中に決めて下さい。

以上

〔次回例会はバザーの反省会を兼ねて

11月20日、お当番はC地区〕

壮年会だより

<11月20日(日) 10名出席>

1. 委員会報告 2. バザー関係

甲斐氏(バザー委員 会計担当)から最終収支結果の紹介があった。
貴重な利益金であるので、有効活用していきたい。

3. 青少年対策協議会(仮称)の件

壮年会から選出された森脇信氏都合により辞任、小山氏(青年会)に代わって頂くことになった。

4. 餅つき大会の件

昨年大好評だった餅つき大会を引き続き実施することに決定した。但しこれから年末にかけては教会のイベントが続くので、これらが一段落する来年のお正月後半に実施することになった。(候補日 1月22日 第4日曜日)

5. その他

来年度役員改選についての説明が会長からあった。

例会の後、軽い食事をしながら、バザーの反省会を兼ねて懇談した。

今後の検討課題として、バザー会場準備についての意見が提言された。(例: 聖堂内床面に張っているシートの要否 等)

以上

ミサ 当番表 (12、1月)

月/日	主日	第一・第二朗読、奉納	オルガン	備考
12/4	待降節第2主日	石井	大宮	壮年会
12/11	待降節第3主日	青年会	美底	青年会
12/18	待降節第4主日	婦人会 D地区	石川	婦人会
12/24	主の降誕・夜中	井上	岩淵	壮年会
12/25	主の降誕	位田	大宮	壮年会
1/1	主の公現	清水	美底	壮年会
1/8	主の洗礼	青年会	石川	青年会
1/15	年間第二主日	婦人会 A地区	岩淵	婦人会
1/22	年間第三主日	小谷	大宮	壮年会
1/29	年間第四主日	婦人会 A地区	美底	婦人会



※当番の方は10分前には集合して下さい。

※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。

(萩原: Tel 802-6258)

編集後記



皆様から多くの原稿を頂き、楽しく?編集しているうちに、1994年もあとわずかなりました。今年のトップニュースは、1. 神父様のお怪我、2. クーラーや収納倉庫など備品の整備、3. バザーの大成功 といったところでしょうか。これから忙しい師走ですが、充実した一ヶ月にしたいものです。

平和な気持ちでクリスマスを迎えられますように。

(E. I.)

今月の予定

委員会 12月4日
赦しの秘蹟 12月11日
主の降誕 12月25日
大掃除 12月17日
レジオ 12月9、16日



第198回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区 中田町 2701
Tel. (045) 803-6141
1994年 12月 4日



Fr. M. D. とのわかれ (下)

山崎 正俊



◎ いつか、目の前に決定的な時が来て、他の人も、多分そうだったのだと思うのですが、私も仕方なしに、また何もわからない処へ、否応なしに行くことになる。いまの別れは、この地球の土地の上でのことで、そのうちに、別の世界(?)に行かされることになるのでしょう。いつの間にか、墓のほうに近くなっている、そのことに就いて考えてもいるわけですが、たしかなこととはわからず、どうなることでもありません。

私も、ひとなみのことを、くどくどと書いてみました。あなたの「さようなら」の挨拶が、あまりにもよくととのっている、なんとお受けしたらよいのか、とっさには分かりません。それでも、そのお別れの言葉の抜き書きをしながら、他の人たちと一緒に、再会を期したいと思います。

◎ 川崎での十二年間と相模原での八年間とは、司祭生活の四分の三に当たります。あの日に、日本に派遣されて、いまは、ブルジュに派遣されるのです。あのときには、「幼いときから育てられていたのに、いまさら、なんで、そんなに遠くのほうに行くのか」と云われ、こんどは、「やっとなつてきたのに、何もかもそのままにして、急に、帰って行くのか」と云われる。神様はどんな責任をとろうとしておられるのか、見当もつきません。けれども、わからなくてもよいのです。いつもそうなのですし、天の声だけは聞こえているのですから。——ブルジュ教区の皆さん。長い間、貸してくれたマキシムを改めて、日本からお送りします。そんなには「まるく」することはできませんでしたが、少しは磨いておきました。日本のウラも、いくらかわからせたい、ついでに、刑務所での研修なども立派に卒えさせることもしました。頑固なところはそのままですが、ちょっとばかりは、苦勞をしたかなと云えます。とにかく、あとは皆様にお任せします。お迷惑でも、よろしくお引き回しのほど、お願い申します。主の平和のうちに。アーメン。

遠くても
さあ 行こう。
友よ、
始まった
この愛の旅路、
共に
手を組んで
歩きはじめよう。
さあ 一緒に
出発だ。

ゴルフとカラオケ

井上 昭男



ゴルフは、現在では週末になればテレビでかならず放映され、大衆のスポーツとして定着し、健康に、親睦に、または人間関係の潤滑油として、いろいろの効用をもたらす。

カラオケもゴルフと同様、否、ゴルフ以上に大衆の間に入り込んでいる。最近では繁華街にはカラオケルームの電飾看板が氾濫するほどである。ところで、現在、大衆の間に人気のあるゴルフとカラオケの間には、一つの共通点が見い出される。それは、ともに力んではいけないという点である。ゴルフをする人は、力んだ結果、ダフったりチョロした経験を誰しもお持ちと思う。カラオケの力んではいけない理由は、専門家の話によれば、声は吸った息を燃料として生ずるが、力むと体のどこかが緊張し、息の通り道が狭められる結果、声が出なくなったり、苦しくなったりするからであるという。そこで歌を唄う時は、体をリラックスして、体の緊張をとくことが第一だそうである。聖歌を唄うときも、リラックスして唄いましょう。

しかし、考えてみれば力んではいけないことは、何もゴルフやカラオケに限ったことではなく、何事も事に臨んで、力むと良い結果が期待できない。力む原因にはいろいろあるが、自分を実力以上に見せようとする心理面も見逃せない。過去に、我々は新任の大臣が言わずもがなの言を吐いて、早々に辞任に追い込まれた事例を多くみている。これも力みが原因になっていないだろうか。

何事も事に臨む時は、リラックスして、笑顔でやりましょう。

バザー収支報告

去る10月30日に行われましたバザーの収支が確定しましたので、下記の通りご報告します。

先月の教会報では利益を35万円と概算にて報告しましたが、その後、製作品残品の販売に婦人会で努力して頂いたことなどもあり、決算の結果では利益が増加しました。

今回のバザーは、いままでになく盛会で、二俣川教会の方々も大勢おいでになり、収益は約42万円と、昨年より3割増加しました。

皆様のご協力有り難うございました。

11月20日 バザー委員会

委員会だより

<11月6日(日) 12名出席>

1. バザー関係

清水委員長より「今回のバザーが盛大に開催できた事を感謝します。ご苦労さまでした。」との労いの言葉があった。

バザー委員会の報告は現在作業中で第三日曜日には報告可能。

2. 財務報告(福島さん)

◆10月度決算報告

◆神父様より建設会計に30万円の特別献金があった旨報告あり。

◆教区本部より1995年度予算案提出の要請あり、本年度予算に沿って作成した。

但し水道光熱費を今年度予算より7万円増額。(クーラー増設による)

勘定科目説明書によると本部分担金(月定献金及びミサ献金の10~12%)の他に本部積立金(同じく5%)があり、当教会では積立金を払っていないので今後は分担金10%(¥460,000)積立金5%(¥230,000)を見積計上することとした。従来の分担金より¥90,000の超過分は建設積立金を減額して¥210,000とし、総額において原案通りで提出することとした。

◆聖堂内クーラーの電気代が9,10月で¥34,114かかった旨報告あり、今後暖房にLPガスか電気かどちらを使用するのが安くなるか議論があった。後日調査。

3. 消化器詰め替え(7本):

防災機器販売協同組合の紹介で前出工機の見積は次の通り。

10型詰め替え料 @¥5,500

新10型 消化器 @¥10,000

容器に有効期限あり、業者に見てもらおう予定、11/16~18頃業者より教会へTELあるので、当番の方は清水委員長宅へ連絡のこと。

4. 会計監査: 今年度会計監査人を七浦氏にお願いし、了承を得た旨報告あり。

5. 七五三のお祝い: 11/13 9時ミサ後にいつものとおり行う。(対象者 4名)

6. テント購入の件: 毎回町内会で借用しているので、バザー収益金で6本柱1張りを購入することを決定。

7. 信徒会預金の件: 本部にオープンにされていない資金を持つことは良くないとのことで、信徒会の預金を一般会計に移すことで検討してきた。しかし教区の勘定科目説明書中で臨時献金a/cは信徒会が主催のバザー収益金を信徒会からの献金・寄付金を処理すると明記されており、現状で問題ないと解釈し、現状を変えないこととした。

8. 福祉委員会の件:

横浜教区福祉委員会から財政支援の要請あり、福祉委員会規約(案)、財政支援要綱(案)も来ており、形式は整っているが、目的が抽象的であり、福祉基金5カ年計画なども納得した理解が得られないので、来月委員会まで結論を持ち越しとする。

9. ルワンダ難民の子供に衣類を送る件:

教会に知らされてから締切まで時間がなく、教会内での連絡が悪く徹底してなかったが、婦人会の皆様を中心に協力宜しくお願いしたい旨説明があった。

10. 婦人会よりの報告:

宣教委員会委員に丸田さんを選出し、ご了承いただいた旨報告あり。

以上

婦人会だより

<11月20日(日) 31名出席>

11月の例会はバザーの反省会と慰労会を兼ねて行われました。皆様お疲れ様でした。

1. 委員会報告

2. 福音宣教委員

丸田さんが選出されました。

3. 12月予定

12月11日 赦しの秘跡 12月13日 サイバーリサイクル 和室にて回収しています。12月17日 大掃除 ご協力お願いします。

4. 聖母の園 中和田教会ボランティアが横浜市より社会福祉功労者市長表彰されました。尚名称の変更を検討中です。

5. バザー反省

◆食堂関係 全体的に評判が良かった。炊き込み御飯は炊飯器の調子が悪い。買い換えが必要。

◆その他の売場 良好だった。

◆お茶のサービス、洗い場の人数が足りなかった。

◆新品値段付けが難しい。製作品についても自分で希望価格を付けてはどうか。

◆製作品 去年のものと目先を変える。作るのなら素材を考え売れる物を 等 意見が出されました。

6. 婦人会会計残金の使い道について

一部をルワンダ難民救済に寄付することになりました。その他突発的な災害などに柔軟に対応したり、教会の修繕や物品購入など必要なときに出せるようにしてはどうかなど意見が出され、次年度に持ち越されることになりました。

以上

[次回例会は12月18日、お当番はD地区]